Environmental Management System 環境マネジメントシステム

環境マネジメントの推進体制

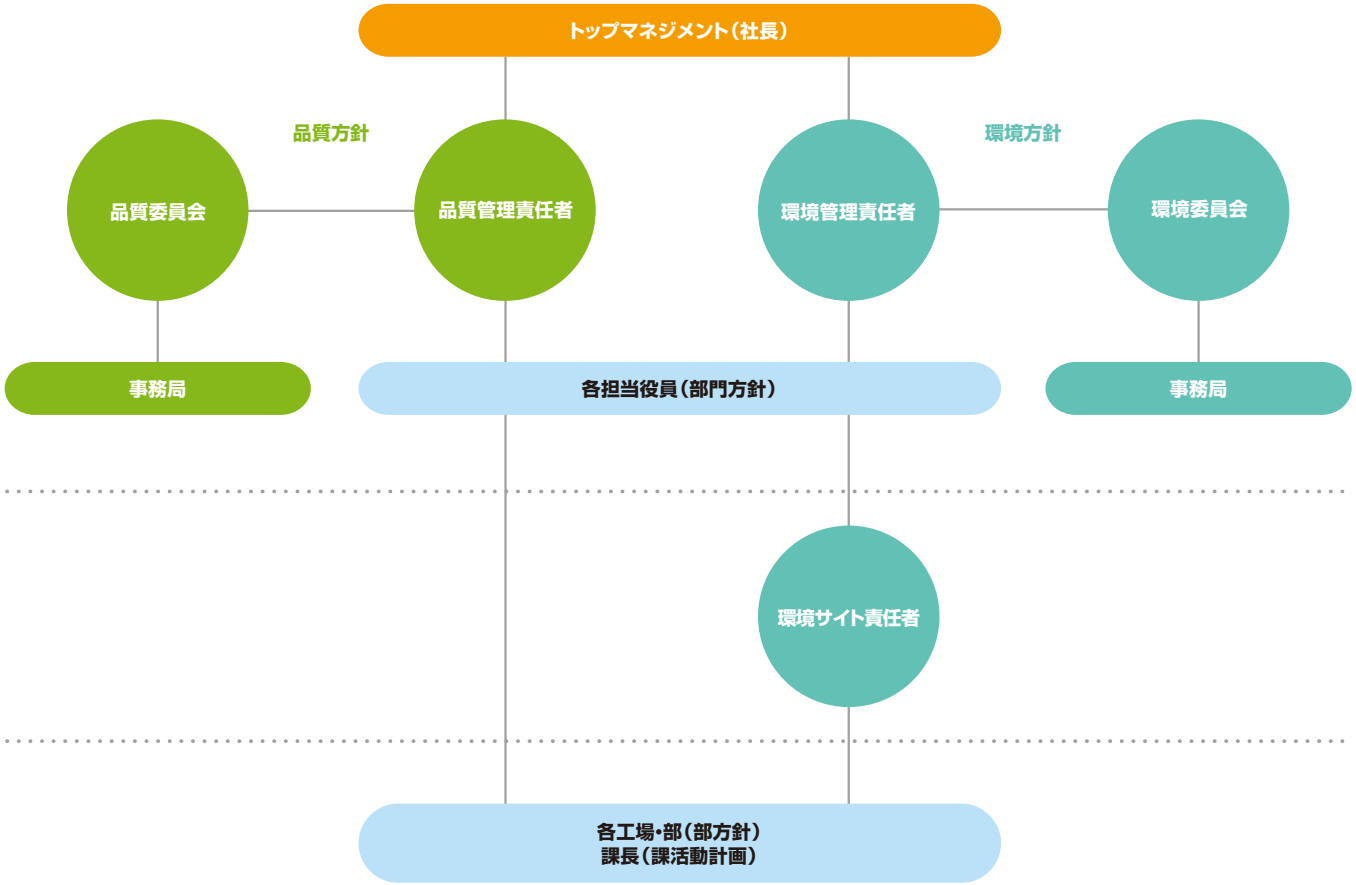
ジヤトコは、静岡県富士市の本社と日本国内の各生産拠点でISO14001認証を取得しています。

環境マネジメントシステム（EMS）推進体制としては、環境管理責任者1名、サイト責任者9名、副サイト責任者3名を任命し、環境管理責任者の責任と権限のもと、各生産拠点・部門ごとにEMSを推進しています。また2011年には、品質と環境のマネジメントシステムの統合を実施しました。

ジヤトコ全体のEMS推進については、環境管理責任者、サイト責任者で構成される全社環境委員会で、総合的に審議と評価を行い、フォローする体制をとっています。すべての部門や生産拠点で全社共通のEMSを運用することで企業としてのベクトルを一元化し、環境マネジメントを強力に推進していることがジヤトコのEMSの大きな特徴です。

国内グループ会社では、ジヤトコ エンジニアリング株式会社が独自にISO14001認証を取得しています。海外拠点では、ジヤトコ メキシコ社が2011年、ジヤトコ（広州）自動変速機有限公司が2013年、ジヤトコタイランド社が、2015年度にISO14001認証を取得し、さらに2019年に生産開始したジヤトコ（蘇州）自動変速機有限公司も同認証取得に向け環境マネジメントシステムの構築を推進しています。

■ジヤトコの品質・環境マネジメント推進体制



Environmental Management System 環境マネジメントシステム

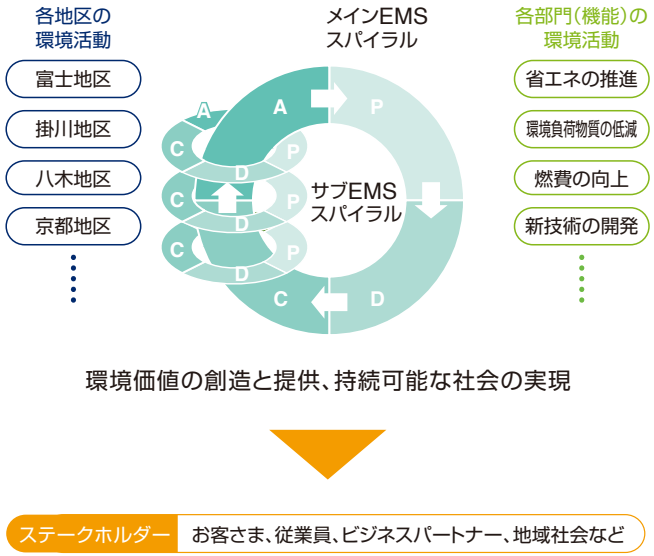
環境活動推進体制

地区別の環境委員会で地域にあった活動を推進

ジヤトコでは地区別に環境委員会を設置し、その地域にあった環境活動を実施しています。

ジヤトコ全体のPDCAサイクル（メインEMSスパイラル）と地区および部門ごとのPDCAサイクル（サブEMSスパイラル）という2種類のPDCAサイクルを相互に連動させ、各取り組みの方向性を統一。より効果的な活動ができるよう継続的な改善を行うことで、ステークホルダーへの環境価値の創造·提供を目指しています。

■ジヤトコの環境活動概念図

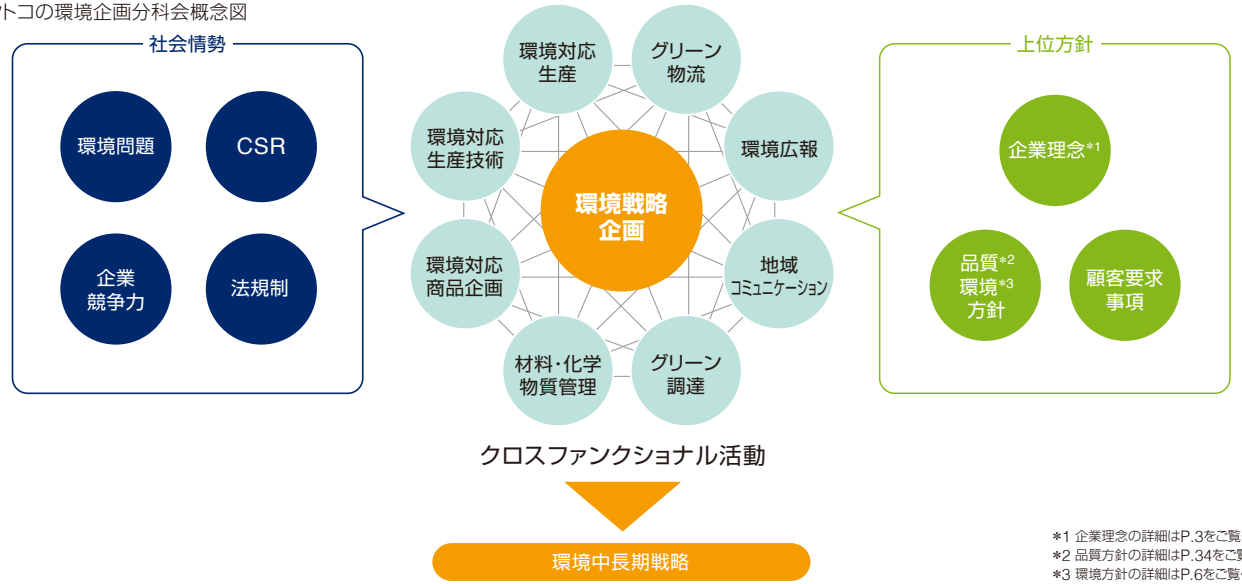


環境企画分科会で中長期戦略を検討

ジヤトコでは、中長期の環境戦略を検討する組織として「環境企画分科会」を2008年に立ち上げました。地区ごとの環境マネジメントを行う「EMS推進体制」に対し、社会情勢や上位方針などを受け、ジヤトコがとるべき環境の中長期戦略を検討·推進するための組織です。ジヤトコ全体を俯瞰しながら、社内を横断した企画·マネジメントを実施しています。また、海外拠点での環境活動の企画·マネジメントなども連携しながら推進しています。

分科会の中には商品開発や生産、調達などの事業活動ごとに8つの小分科会を設け、機能を軸とした環境マネジメントを展開しています。中でも環境企画分科会では、ジヤトコが環境における最重要課題としている「地球温暖化防止」、「環境保護」、「資源の有効活用」という3つの分野での取り組みを強化しています。

■ジヤトコの環境企画分科会概念図



*1 企業理念の詳細はP.3をご覧ください
*2 品質方針の詳細はP.34をご覧ください
*3 環境方針の詳細はP.6をご覧ください